

eco japan cup 2012 カルチャー部門 グランプリ・準グランプリ受賞者 展



【会期】 2013年8月10日（土） - 8月25日（日）

【時間】 11:00~19:00 月曜休廊

【会場】 〒135-0042 東京都江東区木場3-18-17
1F EARTH+GALLERY

【入場】 無料

RECEPTION PARTY

2013年8月10日（土） 16:00-19:00

レセプションパーティーにて受賞者によるプレゼンテーション、
ミュージック部門のLIVEを開催致します。

EARTH PLUS Inc. と深瀬記念視覚芸術保存基金は、eco japan cup 総合運営事務局と連携して、2013年8月10日から25日にかけて、「eco japan cup 2012 カルチャー部門 グランプリ・準グランプリ受賞者展」を開催いたします。

“eco japan cup” は2006年に生まれた、産業・官公庁・学会・市民・金融が連携してエコビジネスの担い手を見つけ、支援育成することを目的とした事業です。低炭素社会を目指し地球温暖化をストップするビジネスプランを募集するとともに、社会にエコ文化を根付かせ人類の意識を根底から変えていくことを企図して、ビジネス、カルチャー、ライフスタイル、ポリシーの4部門を設けています。

この展覧会は、カルチャー部門の4ジャンルであるエコ・デザイン、エコ・コミュニケーション、エコ・アート、エコ・ミュージックの受賞作品を紹介し、受賞者のその後の活動をプロモートする趣旨から、毎年開催されているグループ展です。前年に続いて、東京都江東区木場にてオープン1周年を迎えた、当ギャラリー「EARTH+GALLERY」にて、開催する運びとなりました。

展覧会では、4ジャンルのグランプリ・準グランプリ受賞7作品を展示・紹介します。8月10日（土）午後4時より開催されるオープニング・パーティでは、出展アーティストによる受賞作品に関するプレゼンテーションや、ロハスな社会のため芸術がなし得ることについて語るギャラリートークに加えて、ミュージック部門準グランプリ受賞アーティストによるライブ・イベントも開催します。どうぞお楽しみください。

本展キュレーター 深瀬鋭一郎

EARTH+GALLERY

eco japan cup 2012 受賞作品展

エコデザイン 準グランプリ

『Roll Socket』 関 達也



面倒で意外と力があるコンセントの抜き差し。しかし Roll Socketなら回すだけなので肩に力を入れずに節電ストレスを軽減できる。また、コンセントの通電を止める事で子どもの感電防止にもなる。さらに今後発展していくスマートハウスとの親和性も期待できる。Roll Socket を回す度に「この電気が本当に必要なのかを回っている」と感じてもらい、節電のモチベーションを維持してもらいたい。節電の効果だけでなく、節電をする人の心に焦点をあてた。

エコデザイン 準グランプリ

『Hushime(ふしめ)』 藪下 聡希



竹のキッチン用品はたくさんあるが、竹の特性とフォルムに着目した作品は、あまり見られない。竹の特徴である筒状の曲面、また節目のフォルムを活かした「しゃもじ」と「調理へら」。現代の生活に合わせた新たな竹製品に触れることで、竹の温もりをあらためて感じて欲しい。竹を利用し、現在の生活に合わせたプロダクトを提案することで、環境に負担をかけない、自然素材の普及に取組んでいる。

エココミュニケーション グランプリ 『とくいの銀行 TokunoBank』 深澤 孝史



2011年、茨城県取手市井野団地住人を中心とした人々の活動の輪を広げるコミュニティづくり「とくいの銀行」プロジェクト発足。お金の代わりに団地に携わる人々の「とくいなこと」を預かり、預けた人は、他人が預けた「とくいなこと」を引き出すことができるというしくみで運営。団地の「無形資源」を蓄積、交換し、体験する。「ひきだしイベント」の開催や、複数の「とくい」を同時に体験できる「ひきだしそう会」など次々と企画が進行中。

エココミュニケーション 準グランプリ 『Japanese tip』 辰巳 雄基



Japanese tipとは本来捨てられるだけだった箸袋が感謝の形に変わる新しいコミュニケーション。今までゴミとして見てきた物が、社会を素敵に変える、全く新しい考え方。飲食店で働いた経験から生まれた。テーブルを片づけていると、お客さんが割り箸の袋で何か作って置いていくことがよくあった。これを目にすると片づけが楽しみになり、お客さんからの「ありがとう」の印なら素晴らしいと考えた。これが日本の『TIP』になり得るのではなからうか。

エコアート 準グランプリ

『あかりプロジェクト2012』 大阪人間科学大学 あかりプロジェクト実行委員会



学生による実行委員会が中心となり、大学と地域と行政が協働した光のデザインプロジェクトを摂津市で毎年開催している。摂津市主催の「ろうそくファンタジー」で使用している約4000本のペットボトルキャンドルを使用し、キャンドルアートで夜の公園を演出。「earth~with light and music~」をテーマに、地球の動植物をモチーフに光のアート作品を制作。「eco」につながるリサイクルワークショップを開催し、地域の人たちとの交流や参加型の企画で共に作り上げることを心がけている。

エコミュージック 準グランプリ

『MOTTAINAI~ワンガリ・マータイに捧げる~』

AikaH(アイカ)



昨年9月に他界されたノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイさんを偲び、その活動と意思を全国に未来に伝えるために制作。アフリカンなムードから地球規模の問題、身近な問題、危機的な現状などをいくつかのパートに分けて構成し繋ぎ合わせ、また、ポエム、会話、セリフ、歌、環境音などの表現方法で一つの作品としている。今出来ることは何なのか、これを聴いて環境に対する意識を高めてほしい。

エコミュージック 準グランプリ

『いのちのもり』 jabami ーじゃばみー



日本の森は人工林が多く、動物が生活するには適さない。自然界の動物を守ることは、私たち人間を守ること。この作品はその事実を広く伝えるために生まれた。自然と人間が共存できる環境づくりのために、「力を貸してください」と歌うダイレクトな歌詞で、分かりやすい内容となっている。マリンバの音を使い森や自然に生きている動物たちをよりイメージしやすく表現している。

eco japan cup 2012

日本発、世界の経済をエコ化する！をスローガンに掲げ、「エコビジネスの芽を見つけ、育てるコンテスト。」 eco japan cup 2012

主催：一般社団法人環境ビジネスウイメン／環境省／国土交通省／総務省／株式会社日本政策投資銀行／株式会社三井住友銀行

後援：外務省／経済産業省／内閣府／農林水産省／文部科学省／朝日新聞社／産経新聞社／東京新聞／日本経済新聞社／毎日新聞社／読売新聞社／日経 BP 社／NPO 法人環境経営学会／(公社)経済同友会／東京商工会議所／日本商工会議所／(社)日本経済団体連合会／(公社)日本青年会議所／(社)日本インテリアデザイナー協会／(社)日本グラフィックデザイナー協会／(社)日本パッケージデザイン協会／日本ベンチャーキャピタル協会／低炭素都市推進協議会／全国知事会／北海道／青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県／茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／新潟県／富山県／石川県／福井県／山梨県／長野県／岐阜県／静岡県／愛知県／三重県／滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／奈良県／和歌山県／鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／徳島県／香川県／愛媛県／高知県／福岡県／長崎県／佐賀県／熊本県／大分県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県 (順不同)

パートナー・コンテスト[企業賞]提供団体：

一般社団法人環境ビジネスウイメン／一般財団法人セブン・イレブン記念財団／日本郵政グループ／株式会社三井住友銀行 (順不同)

一般協賛団体：株式会社 IHI／株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ／～水俣地域の発展のために～ JNC 株式会社／株式会社電通／パナソニック株式会社／前田建設工業株式会社／三井住友ファイナンス&リース株式会社／三井不動産株式会社 (順不同)

連携団体：NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット／深瀬記念視覚芸術保存基金 (順不同)

協力：株式会社アーキフィリア (CREATORS BANK)／株式会社クレコ・ラボ／株式会社グラフィック／ブロードメディア・スタジオ株式会社／muzie (順不同)

■お問い合わせ・連絡先

<展示内容・作家関連> 深瀬記念視覚芸術保存基金代表深瀬鋭一郎

TEL 090-6140-2630 / e-mail info@fmvapp.com

<eco japan cup 関連> eco japan cup 総合運営事務局 石井裕

TEL 03-5888-9139 / e-mail ejc@eco-japan-cup.com

<会場・開催概要関連> EARTH+GALLERY 山中・松崎

TEL : 03-5809-9949 / e-mail info@coexist-tokyo.com

〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 1F

EARTH+GALLERY